



# 宮ヶ瀬湖から、風のたより

NPO法人  
宮ヶ瀬湖ポートクラブ

第1巻第1号

2007年8月4日

暑中お見舞い申し上げます。いよいよボートシーズンの最盛期に入ってきました。先般の運営委員会で、宮ヶ瀬湖ポートクラブも活動が軌道に乗ってきたので、内外に我が会の活動をPRする活動をする時期にきているということで会報を発行することになりました。今後の発行形式など、順次検討整備して行きます。第1号では平成19年度前半の活動報告を中心にお送り致します。

## 1. 第5回宮ヶ瀬湖紅葉レガッタの開催日変更のお知らせ

第5回宮ヶ瀬湖紅葉レガッタの開催日が11月25日に変更になりました。

変更理由は、紅葉レガッタのコース設置等の準備とその撤収作業は2泊3日の作業になります。そこで宿泊所の確保が必要となりますが、当初計画の11月18日の場合は、宿泊施設が使えないため、やむなく当初計画で悪天候の場合の順延予定日である11月25日にスライドさせて頂きました。ご理解のほどお願い申し上げます。

## 2. 第5回観桜レガッタ、賑やかに開催

第5回観桜レガッタが4月22日(日)に開催されました。

今年の観桜レガッタは、暖冬異変で桜が異常に早く満開となり、また天気予報では当日の天候が危ぶまれたものの、まずまずの好天に恵まれ、参加者は役員も含め82名(男67、女15)、家族応援を含めると100名で、過去最高の参加者で賑わいました。レースは、エイト2(パルテ、団塊号軽量級)、クオド2(つるみときわ号と宮ヶ瀬湖BC)、KF(男子5クルー、混成2クルー)でした。



4人漕ぎスカル(クオドルブル)

## 3. 横浜ドラゴンボートレース

今や、宮ヶ瀬湖ポートクラブの出場が恒例となった横浜ボドラゴンボートレース。今年も6月3日に行われ、出場しました。

昨年優勝を逃したりベンジを狙って、健闘しましたが、武運拙く小差で決勝進出を逃し、残念会を中華街の順海閣で盛大に行いました。

## 4. 第4回水上運動会

7月22日、今回も薄日の差す穏やかな湖面で、漫漕を満喫。午後は太陽が顔を出し、夏の日差しの中、ボートリレーを行いました。ボートリレーは、水上運動会が編み出したボートゲームです。今回は、第1漕がKF対決、第2漕が白組は女子4×+対紅組男子4+(但し、男子クルーは老練パワー)、第3漕は、団塊号同志の対決。という組み合わせでした。

参加者は50名。昼食は恒例となった、冷たいお汁粉。参加賞はお野菜。

<流木除去作業> 台風4号による増水で、湖面は大量の流木が浮遊。水上運動会のため流木除去作業を実施。大量の流木を拾い上げ、湖面を一応安全な状態に戻しました。

### 会費納入のお願い!

当クラブは、保有艇の増加に伴い、保管料負担が激増しています。21年度以降になれば、紅葉レガッタの収益を、艇の整備、保管料に支弁できるようになりますが、それまでは、会費及び土曜漕ぐ会の参加費でしのがねばなりません。また21年度に向けての艇の整備と改良にも費用が必要です。その様なわけで、会費納入をお願い致します。

会費は、

個人会費 3,000円

賛助会費 10,000円

です。



## 5. 土曜漕ぐ会と月例漕ぐ会

月例漕ぐ会は、4月は観桜、7月が水上運動会となるので、実質的には5月・6月の2ヶ月のみでしたが、5月は石井さんを偲ぶ会を行い、他の日曜日はカヌーの国体予選、ドラゴンボートレース練習などと重なり、6月も国体予選があり、日曜開催ができず、土曜漕ぐ会と合併開催を致しました。

したがって、土曜漕ぐ会・一葦会のみがほぼ毎土曜日に開催。21回開催し、参加者合計は230人(1月～6月末)でした。立花・三原両氏のご尽力のお陰です。



「虹の大橋」を背景に進むボート  
(水上運動会の1シーン)

## 6. 石井さんを偲ぶ会がしめやかに、陽気に行われました

昨年急逝された石井さんを偲ぶ会を、宮ヶ瀬湖BCの呼びかけで、5月13日(日)、横浜クルーズクルーズにて、稲門会、横浜市ボート協会合同で開催。石井さんのご家族をお招きし、70名ほどの参加者を得て、早慶戦はじめボートと石井さんの思い出に花を咲かせました。司会は谷古氏(稲門会)。準備委員長、氷見さんはじめ委員の方々のご尽力、ご苦労様でした。

## 7. 三菱BCおよび茨城県ボート協会から艇の譲渡を受けます

平成21年から「ゆめ国体基金による補助金」がなくなるため紅葉レガッタは完全自立開催を求められています。そのため自前艇の保有数を拡大しなければなりません。これに対し、三菱B.C.の取り計らいで、(財)三菱養和会から4x-艇を頂くことになりました。これに加え、日本ボート協会理事長の舘氏のご配慮で、茨城県ボート協会からKF2艇を譲渡して頂くことになりました。8月3-4日に搬入作業実施。これにより当クラブの保有艇は、エイト3艇、4+1艇、4x-1艇、KF3艇、さらに東海大から4-を譲り受ける予定。

## 8. 艇の整備を支える岸田光祐、佐藤正雄、両会員の紹介

宮ヶ瀬湖ボートクラブの保有艇は、我がクラブの事情からセコハン艇が多く、それゆえ、加齢現象があちこちで見られ、その手当に相当の労力を割いています。その整備の中心は、岸田・佐藤両氏。岸田さんは三郷市の遠方から、三菱BCや多摩川のボート活動の合間をぬって宮ヶ瀬まで来られ、また佐藤さんは昔取った杵柄の匠の技を駆使して、艇の整備に奮闘して頂いております。お二人の献身的なご尽力に感謝を込めて、会員の皆様に紹介をさせていただきます。

### 宮ヶ瀬湖ボートクラブ ホームページ開設

念願の宮ヶ瀬湖ボートクラブのホームページが開設されました。

ホームページの開設とメンテは、東海大ボート部OB会(かもめ会)の高原茂雄氏です。このホームページは、高原さんのボランティアでつくり、維持されています。会員のみならず、どんどんアクセスお願い致します。高原さんに感謝！！

URLは下記です。

<http://www.k5.dion.ne.jp/~miyagase/>

宮ヶ瀬湖ボートクラブの公式ホームページ開設に伴い、これまで開設されていましたが「宮ヶ瀬湖応援ホームページ」を閉鎖することになりました。本当に長い間、ご尽力頂いた、太田素弘会員に厚く御礼申し上げます。新しいホームページは、「応援ホームページ」を引き継いでいます。有り難うございました！！

### お問合せは

鶴野省三(宮ヶ瀬湖ボートクラブ副会長)宛 電話: 046-884-3571 / FAX 0468-36-6785 e-mail: s\_tsuruno@ybb.ne.jp